

(様式3) 【学校用】

## ふるさと教育 取組事例

学校名	益田市立戸田小学校		
学 年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3・4 年	総合	ふるさと大好き ひとまるの里のこれまでこれから ～ひとの思いや願いにふれる～	小野神社、例年祭に係る地域の方々、公民館 主事、各地区の方々、ふるさとひとつなぎコー ディネーター 等
ねらい	小野地区の「もの」「こと」に関する思いをもった「ひと」に出会う ことを通じて、地域の良さを知るとともに、人々の願いを感じ、自ら の行動につなげる児童を育む		
<p>1 取組の概要</p> <p>町内の5地区（小浜・喜阿弥・滑・飯浦・戸田）を巡り、それぞれの素晴らしい歴史や文化を知ることきっかけに、熱い思いをもって地域を守り盛り立てる活動をしている地域の「ひと」とつながり、ともに活動を行いながら、これから自分たちがどう地域にかかわっていきたいかを考える。（今年度の題材の大きな一つは「小野神社とそれにかかわる人々」）</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p style="padding-left: 20px;">（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）</p> <p>○単にもの・ことなどに「触れる」「知る」だけでなく、実際に活動することでその良さを体感できるような活動をつくった。</p> <p>○自らを1人のまちの仲間として捉え直すことができるように、願いをもった地域の方々と、講話ではなく対話を行った。</p> <p style="padding-left: 20px;">（学力育成の視点から）</p> <p>○直接体験などを意図的に組み込むことで、学びに対する主体的な態度を育成する。</p> <p>○課題解決やプロジェクト型の取組を行うことで、学びに対する協働的な態度や在り方を身につける。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</p> <p style="padding-left: 20px;">（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）</p> <p>○「ひと」との出会いを大切に、様々な年代で対話を行う機会をたくさん設定した。対話の在り方もトークフォークダンスの手法を用いて一対一で大人と対等に話す場面を増やした。自分の思いをななめの関係で受け止めてもらったり、一緒に楽しく考えたりすることを通して、大人への信頼感と、自分も一緒に何かしてみようという意欲が高まった。</p> <p style="padding-left: 20px;">（学力育成の視点から）</p> <p>○多様な他者との関わりから、自他の理解を深め、自分の良さを知るとともに、弱みも受け入れて成長したり学んだりしようとする姿が見られた。（学ぶ意欲）</p> <p>4 課題や今後の展望</p> <p>○年度当初の計画の段階で、各授業者が、一年間を通じた地域の取り組みを知り、授業と接続して生かせそうなものがないかを検討する時間が必要であると感じている。各教科との接続や、教科横断的な視点を取り入れることで、小さなコストでより良い成果が得られるようになって感じている。</p> <p>○そうした計画性をベースとしながら、児童の実態に即して学習を進めていく中で、たまたま知り得た情報や、後から分かった活動などにもアンテナを張り、弾力的に学習活動を変化させていくという柔軟さのある展開も大切にしていきたい。子どもたちの学びを深めるために、計画性と偶発性の双方を大切に学習活動を展開していくために、常に目的は何かを考えておくことと、本校に席を置く「ふるさと・ひとつなぎコーディネーター」のつなぐ力を最大限活用することが大切となる。</p>			

※取組の様子がわかるような画像を数枚貼り付け、ファイルのデータサイズが500kb以下となるようにしてください。  
 ※この事例をしまねのふるさと教育ホームページに掲載する予定のため、画像は必ず承諾を得たものにしてください。



※取組の様子がわかるような画像を数枚貼り付け、ファイルのデータサイズが500kb以下となるようにしてください。  
※この事例をしまねのふるさと教育ホームページに掲載する予定のため、画像は必ず承諾を得たものにしてください。